



平成26年11月

Vol. 24



発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部会
印刷／株式会社山口農協印刷



芝生化モデル校の指定を受け、地区民総出で植え付けた芝生が、見事に生育しました。新しい校舎を背景にみどり鮮やかな芝生の上で、今年の山口市長を囲む会「やまぐち車座トーク21」を行うことになっておりましたが、あいにく雨のため小学校体育館に場所を移しての開催となりました。



市担当職員



渡辺市長さん



自治会意見発表者

最初に市長さんより、パワーポイントを使つての「市政報告」があり、その後自治会より以下の議題を提案し、市長の回答や市の取り組みなどについて意見交換を行いました。

- ① 地域防災（安心・安全な環境づくり）
- ② 少子・高齢化対策（魅力ある地域づくり）
- ③ 有害鳥獣対策（有害鳥獣に強い地域づくり）

各議題とも市の取り組み市長の回答は、積極的なものでした。



ふるさと大学

蜂蜜講座 講師：向山下 渡邊紀明さん



「養蜂の魅力をお伝えします」と題して興味深い話をたっぷり講義。蜂蜜の試食もありました。



針を持つのはメス、女王蜂は一度きりの交尾で一生産卵を産み続けるなど、蜜蜂の生態に驚きました。

講義のあと、養蜂の実際を向山の渡辺邸で見学。巣箱、燻煙器、分離器等採蜜技術のすごさを受講生一同実感しました。

陶芸教室 講師：向山下 武田康彦さん



「私にだって作れます」と題した陶芸教室参加者は誰もが芸術家気取り(?)。

第一日目は、形成。始めに武田先生の作品ギャラリーを見学し、制作のヒントを得る。工房に移ってから、粘土を手に思い思いの作品づくりに没頭です。

二日目は、素焼きをされた作品に絵を描く作業。それに釉薬(ゆうやく)をかけます。

最高の感激、は窯だしされた自分の作品と対面したとき。作品を手にもみんなの感想を述べあって、誰もが満足顔でした。

名田島小学校校庭の芝生の生育状況を追ってみました。皆さんの努力のおかげですばらしい校庭となりました。生育の早いのに驚きです。 写真提供：佐分利 隆さん



7月6日



7月10日



7月21日



7月26日



8月6日



8月17日



8月26日



9月7日



9月14日



10月12日



七夕ちょうちんちよつとまつり



7月19日（土）に交流センター中庭で「七夕ちょうちんちよつとまつり」と題して夏まつりを初めての試みとして開催しました。

約370名の参加者があり、毎年続けて開いて欲しいとの声が多くありました。



射的



輪投げ



6年生のお店



線香花火



すいかわり

「お楽しみ農園」オープン!!



名田島お楽しみ農園

場所：この奥100メートル

連絡先：名田島自治会連合会

Tel：083-973-7551

(看板見本)

9月27日（土）に畝立てを行い、^{しのめ}県道新川の東雲橋を渡って北へ約100mの圃場に農園を開園しました。

新鮮・安全な野菜や花を育ててみませんか。希望者は、まだまだ募集中です。



名田島「たくみ」の技

名田島地区にも人知れず「技」の持ち主が多々いらっしゃいますので、紹介してみたいと思います。

うなぎ捕り名人
佐藤 忠治さん（西開作下）



左は「鰻ぐり」と言います。この中に 竹の筒が入れてありその中へ鰻が入ります。



一日の成果

近年めつきり捕れなくなったそうですが、それでも年間少なくとも200匹~250匹くらいは捕るそうです。当然小さいものは放流されます。

生来漁が好きで、樫野川漁協発足以来の組合員です。鰻から始まり、^{しじみがい} 蜆貝採りや、つ蟹（正式にはもずく蟹と言う）採り更に建網を使った「ぼら」や「ちぬ」なども趣味として漁をしています。採れたものは老人会の集まりなどのおり、鰻の蒲焼き・つ蟹汁・蜆の味噌汁などとして振る舞われます。

お菓子作り名人
土井 和子さん（昭和東）



土井牧場で「^{なごみ}和味ミルク工房」経営、野菜ソムリエの資格をお持ちです。

「我が家には、牛乳がある。これを何か型にして他の人を喜ばせたい。」そんな思いから平成19年に6次産業である加工品を始められました。

自家製の牛乳・玉子と県内産の小麦粉を使用して作られたお菓子は、「やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド認定品」の指定を受け、名田島ふれあい市・ぶちええ菜などで販売しています。



酪農教育ファーム牧場の
認証を頂いています。
みんな私たちに
会いに来てね！



ジャージ種(メス)1キ
この子のミルクで
チーズケーキを作ります。

